

令和7年度 体力向上における各校の取組みと成果(小学校)

越前市

教育委員会

No	学校名		項目	具体的な取組み	成果
1	武生東	小学校	本校の体力向上の取組みについて	業間運動の内容を持久力の向上を目指した運動だけでなく、はぴりゅうスポーツ広場を活用し、いろいろな体力を高められる運動を取り入れて行った。	多様な運動を取り入れたことで、バランスよく体力が向上し、マラソン記録会の記録が、4つの学年で平均29秒縮んだ。
2	武生西	小学校	本校の体力向上の取組みについて	児童が達成感や満足感を実感できる活動として、「のびのび運動」で、1か月に1回縦割り班で大縄跳び練習会を行い、とべた回数を記録した。児童たち自身が記録の伸びを実感しながら、運動に取り組むことができるようにした。	六年生を中心として、縦割り班での大縄跳び練習会を進めていくことができた。1か月ごとに大縄跳び練習会を行うことで、どの班も記録を伸ばすことができおり、達成感や満足感を感じながら運動に取り組み、継続して運動することの良さを感じることもできた。
3	武生南	小学校	その他	マラソン大会「RunRunフェスティバル」では、児童は3つの距離の違うコースに加え、今年度は順位や記録の更新を目的としたチャレンジコースを設置した。練習をする中で、各自が目標タイム(ラップタイム)を設定し、本番に臨んだり、競い合ったりしていた。	児童は自分で距離を選択したことで、意欲的に練習に励んでいた。ペアやグループでラップタイムを取り合ったり、応援し合ったりする姿がよく見られた。児童からは、「自分にあったコースを選べるのが楽しい」「目標を設定して、目標通り走れてうれしかった」「競い合って走ることが楽しかった」などの前向きな声が多く聞かれた。
4	神山	小学校	本校の体力向上の取組みについて	毎週水曜日に全校体育として「らんらんタイム」という時間を設け、自分のペースで約5分間の持久走を行う。自分で目標を設定し、自分のペースで走り続けるということを大切に取組み取り組む。	持久走記録会で、去年より良い記録を出す児童が増えた。1・3・4・5・6年では新記録を出す児童もいた。
5	吉野	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	「休み時間の遊び方」を提示し、フリータイムと昼休みに曜日ごとの学年割当てと遊べる場所を指定し、どの学年も毎日運動できる場所を確保した。	年間を通して、多くの児童が体育館や校庭、多目的ホール、中庭などで運動遊びを行っていた。(学校評価「体育や休み時間に、元気に運動している」児童84%)

6	大虫	小学校	本校の体力向上の取組みについて	マラソンやなわとび等の業間運動を、前期(4~9月)は週1回、後期(10月~2月)は週2回行う。	10月末に実施した時間走記録会では、R6年度と比較して、規定周数を超えることができた児童の割合が、全体で15%増加した。
7	国高	小学校	本校の体力向上の取組みについて	委員会で走力を使う内容のイベントを年に数回開催する。そして、体力テストで走力が平均水準を達成できるように、走る運動を習慣化させるきっかけにする。	体育委員会で走力アップや運動習慣の育成のため、イベントを開催した。体力テストの結果を見ると、20mシャトルランは男女共に、50m走は女子が平均水準を達成することができた。
8	坂口	小学校	本校の体力向上の取組みについて	業間には、10分間ジョギングや個人での短縄跳びを通年で継続的に行った。	全国体力・運動能力調査では、男女とも総合評価で県平均、全国平均を上回った。
9	王子保	小学校	本校の体力向上の取組みについて	基礎体力の向上と基本的な技術の習得をめあてとして、準備運動には必ず、握力を高めるグーパー体操、体の中の筋肉や神経のつながりをよくするための体幹を整えるドリル、瞬発力を高めるダッシュや馬跳び等を取り入れる。	グーパー体操、体幹を整えるドリル、瞬発力を高める運動を継続して行うことにより、基礎体力の向上や基本的な技術の習得につながった。達成感を味わい、意欲的に運動する児童が増えた。
10	北日野	小学校	本校の体力向上の取組みについて	業間運動を利用し、200mトラックを周回したり、全校運動(雨天時)、ダンスやなわ跳び、8の字跳びをしたりした。持久走では、児童が距離を選択する「持久走記録会」を行った。	児童が距離を選択する「持久走記録会」を行ったことで、運動が苦手な児童も目標を持って取り組むことができた。以下のとおり活動後の児童アンケートに繋がった。 ・持久走記録会は頑張ることができた(87.4%) ・持久走記録会では、自己ベストを達成することができた(79%) ・自分が距離を選択する持久走記録会をこれからも行いたい(61.3%)
11	北新庄	小学校	本校の体力向上の取組みについて	年間を通して週1回、業間に、ラジオ体操・マラソン・縄跳びを行った。ラジオ体操や縄跳びに関しては、はぴスポのはぴはぴコースやランキングコースに記録の入力を促した。	体力テストのアンケートでは「運動が好き」「運動がまあまあ好き」と回答する児童は男子が80%、女子が74.3%だった。運動会やマラソン大会やなわとび大会などの行事に全校で前向きに取り組む姿に繋がった。

12	味真野	小学校	本校の体力向上の取組みについて	業間活動としてマラソンや縄跳びに取り組んだ。その際、学校行事と関わらせながら、自分の目標をもって取り組めるような仕組みを、委員会を通して行った。	自分なりの目標をもって取り組む児童が増加したことにより、児童の体力が向上した。多くの学年でシャトルランの記録がTスコアによる全国平均を上回った。
13	白山	小学校	その他	体育的行事の見直しとして、昨年度までは、「なわとび大会」と称していたものを「なわとびチャレンジ」とした。これまでは、学年ごとに技を指定し、合計回数を記録していたが、今年度は、個人で選んだ技の連続回数の記録に変更し、全員に賞状を渡すようにした。	なわとびが苦手な児童も1つの種目に絞ることで、心理的ハードルが下がり、前向きに練習に取り組む姿が見られた。
14	南中山	小学校	本校の体力向上の取組みについて	毎週水・金曜日にチャレンジタイム(業間運動)として、持久走と縄跳びを行った。	体力テストにおいて、48種目中(8種目×男女×3学年)38種目で福井県の平均値を上回った。昨年度課題だった持久力において、20mシャトルランの記録が向上した。
15	花筐	小学校	本校の体力向上の取組みについて	持久力を高める取り組みとして、10月の朝活動の時間に5分間走に取り組んだ。	持久力を高める取り組みに力を入れたことで、自主的に持久走の練習に熱心に取り組む児童が見られ、多くの児童のマラソン大会のタイムが向上した。また、強化月間に積極的になわとびに取り組んだことで、持久跳びで長い時間跳べる児童が増えていった。
16	服間	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	デジタル化した体育カードを活用し、業間活動の記録や体育の授業の記録、マラソン大会の振り返りなどを残していくことで、自身の体力の向上を見える化した。また、様々な目標を達成するたびに賞状を作成した。	児童が年間を通して記録をし続けたことで、自身の運動技能の向上を感じやすくなった。マラソン大会やなわとび記録会などにも、意欲的に取り組み、目標を達成しようと頑張る姿がみられた。
17	岡本	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	健康の保持増進を目的とした「すこやかウィーク」を設定し、期間中健康委員会による運動ブース(「投げる」「走る・跳ぶ」)を設置した。児童が考え用意したルールや道具を用いて屋外で実施した。	休み時間中の企画であったが、ほぼ全ての児童が参加し体を動かした。寒い日が続き外で遊ぶ機会が少なくなっていた中で、外で日を浴びながら運動を楽しみ、心地よさを感じる様子が見られた。